



# 開催報告書



湯沢市議会

# 目次

1. 開催概要	1
1)開催の目的	1
2)事業の概要	1
3)開催日程等	1
4)議会運営	1
2. 参加者名簿	2
1)発言者とテーマ一覧	2
2)参加者の構成(性別・地域・年代区分)	2
3. 議席図	3
1)ゆざわ市民一日議会議席図	3
2)注意事項一覧	3
4. ゆざわ市民一日議会	4
1)スケジュール	4
2)オープニング	5
3)議長プレゼンテーション	5
4)会議記録	6
5)スナップショット	25
5. アンケートの集計結果	27
1)アンケート(参加者・傍聴者)	27
6. ゆざわ市民一日議会を終えて	31
1)湯沢市議会第4回(12月)定例会一般質問	31

# 1. 開催概要

## 1)開催の目的

市民の市政参画を推進し、市議会活動について一層関心を深めていただくことを目的に、市民の皆様から市政や議会へのご意見やご提案をお聴きする新しい取組として、「ゆざわ市民一日議会」を開催しました。

## 2)事業の概要

議場において、市民の皆さんが暮らしの中で思われていることなどを発表していただく場を設けました。発言者の皆様からいただいたご意見やご提案については、議会改革推進会議などで協議し、市政および議会活動に反映させてまいります。

## 3)開催日程等

日 時 令和5年10月29日(日) 13時30分から16時まで  
会 場 湯沢市議会 議場  
名 称 ~自分の思いを議場で発信~ ゆざわ市民一日議会

## 4)議会運営

- ①議事の進行は議長が行いました。
- ②発言の内容は市政や湯沢市議会に関することとし、1つのテーマに限定しました。
- ③発言時間を1人5分程度としました。
- ④当日の議会映像はYouTube(ユーチューブ)でライブ配信しました。



## 2. 参加者名簿

### 1) 発言者とテーマ一覧

発言順 番号	発言者氏名	発言のテーマ
1	小崎 嘉純	湯沢ふるさと体験まつりについて
2	大内 一樹	新たな祭りを提案したい
3	伊藤 圭	移住者の目線から捉える湯沢について
4	小谷 明	ゆざわ-Biz の評価、査定について
5	佐々木 美空	湯沢市に若者を
6	鈴木 義昇	5年後～10年後の湯沢市の未来
7	菅 籠希	いつでも気軽に立ち寄って体を動かせる場所がほしい
8	柴田 貞宏	音楽のまちゆざわを吹奏楽で盛り上げよう
9	池田 優奈	SNS で地域コミュニティを豊かにしたい

### 2) 参加者の構成(性別・地域・年代区分)

男性	女性	合計
5名	4名	9名

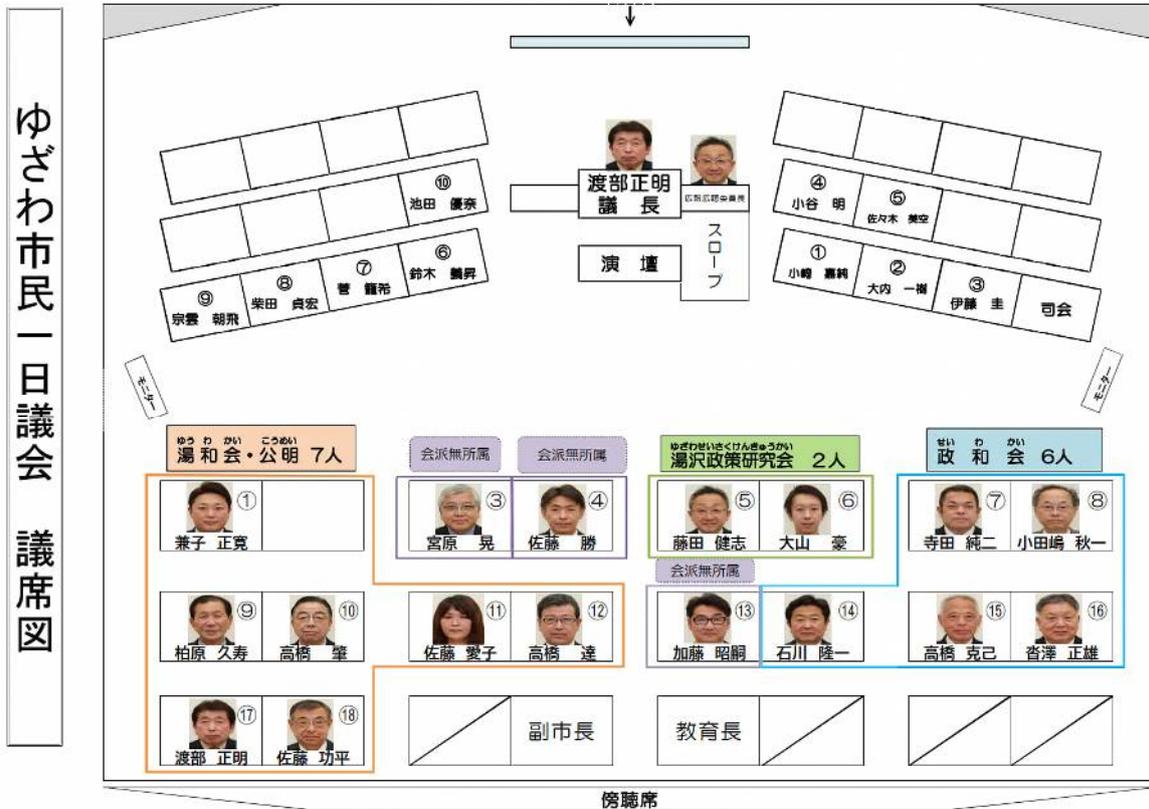
湯沢地域	市外
7名	2名

小学生	中学生	高校生	30代	40代	50代	60代
1名	1名	2名	2名	1名	1名	1名



### 3. 議席図

#### 1) ゆざわ市民一日議会議席図



#### 2) 注意事項一覧

##### ゆざわ市民一日議会 注意事項一覧

○議場での注意事項

・発言者は次の行動をとらないでください。

- ①個人のプライバシーに関することや批判的・中傷的な発言
- ②大声で叫ぶ、脅迫的、または罵倒するような発言
- ③議会の秩序ある運営を乱すようなその他の言動
- ④決められた発言時間の超過
- ⑤その他議長が不適切と判断する発言

・傍聴者は次の行動をとらないでください。

- ①大きな声や音を発する等、騒ぎ立てないこと。
  - ②はち巻き、腕章の類をする等示威的行為をしないこと。
  - ③飲食をしないこと。
  - ④携帯電話等音声を発生する機器は、電源を切り、又は音を発しないようにすること。
  - ⑤議場の秩序を乱し、又は妨害となるような行為をしないこと。
- 写真や動画の撮影は可能です。ただし、個人の記録用として撮影し、SNSなどのインターネット上での公開はしないでください。

ゆざわ市民一日議会はYouTubeで配信しています。また、撮影を許可している場合があります。傍聴席も映り込むことがありますので、ご了承ください。



## 4. ゆざわ市民一日議会

### 1) スケジュール

時間		所要(分)	内容	
12:30	~	12:45	15	参加者受付(4Fフロアにて)
12:45	~	13:15	30	事前説明&リハーサル(議場にて)
13:15	~	13:25	10	休憩・取材対応(会議室41にて)
13:25	~	13:30	5	5分前入場(議場へ)
13:30	~	13:40	10	オープニング(開会・議長プレゼン)
13:40	~	13:50	10	発言者①小崎嘉純さん
13:50	~	14:00	10	発言者②大内一樹さん
14:00	~	14:10	10	発言者③伊藤 圭さん
14:10	~	14:20	10	発言者④小谷 明さん
14:20	~	14:30	10	発言者⑤佐々木美空さん
14:30	~	14:40	10	休憩
14:40	~	14:50	10	発言者⑥鈴木義昇さん
14:50	~	15:00	10	発言者⑦菅 籠希さん
15:00	~	15:10	10	発言者⑧柴田貞宏さん
15:10	~	15:20	10	発言者⑨池田優奈さん
15:20	~	15:25	5	閉会・クロージング
15:25	~	15:35	10	市長、教育長コメント
15:35	~	15:50	15	記念写真撮影

## 2) オープニング

藤田健志広報広聴委員長が司会を務め、ゆざわ市民一日議会のスケジュールや注意事項などについて説明しました。

## 3) 議長プレゼンテーション

ゆざわ市民一日議会の開会に先立ち、渡部正明議長によるプレゼンが行われました。渡部議長の「動く」というテーマのもと、2021年から取り組んできた議会改革は、「市民に身近で信頼される議会」というコンセプトのもと、市民と議会との多様な意見交換の場の設定や政策立案機関としての機能強化を図るための研修の実施など、様々な活動を行ってきました。

こうした意見交換の場での市民の皆様の意見を参考とし、地域課題を解決するための政策課題を、各常任委員会(総務財政常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会)ごとに設定し、議員間討議を重ね政策提言に向けて取り組みました。その結果として、令和5年第3回定例会において、議員発議による「稲庭うどん振興条例」の制定、また各常任委員会から提出された政策提言書を全会一致で可決し、市長に提出したことが報告されました。



## 4) 会議記録

### 小崎嘉純さん「ゆざわふるさと体験まつりについて」

本日はどうかよろしく申し上げます。前回 この議会に参加させていただいた際に湯沢3大まつりに対し、国の無形民俗文化財登録を目指していきたいと提案いたしました。文化財の登録によって認知度が大幅にアップし、湯沢市民のシビックプライドの醸成につながります。今回は七夕まつりではなく犬っこまつりについてお話しさせていただきたいと思っております。国の無形民俗文化財登録



を大きな目標とし、アキスター型体験事業の新たな取組として、「稲庭しんこ」の提案、実施をいたします。お手元の資料をご覧ください。今年9月末頃、稲庭うどん振興条例が制定されました。この稲庭うどん振興条例はまだご存知のない方がたくさんいらっしゃいます。内容といたしましては割愛しますと「たくさん食べて、たくさん発信していこうね」ということだと受け取りました。間違っていたらすみません。目的である関連する産業の発展及び郷土愛の醸成、持続可能な地域ブランドの確立、この2つに着目し市民の協力として稲庭うどんの普及促進に関する取組に努めるようにとありましたので、稲庭うどんと犬っこまつりの困りごとを掛け合わせた、犬っこまつりの困りごとは、「伝承の継承」になります。「稲庭しんこ」細工の新たな観光体験を来年の2月のおまつりで実施予定としております。稲庭しんこは稲庭うどんの商品にできない廃材となる部分をアップサイクルし、ミキサーで細かく砕き、しんこの粉と混ぜ合わせた家庭の電子レンジでも簡単にできるキットとしています。このようにねんど遊びのように、基本は犬ですけれども体験の場合は自由に形を変えられるように提供していこうと思っています。しかもしんこ細工のカビ問題、割れ問題にも対応できるようにしています。

まだ実験中ではありますが、防腐剤などを加工しながら今年3月に作ったしんこだけの粉のやつは、まだカビも生えず割れもしていないので今後も活用できるかと思われま



はの体験で自分で作った思い出ができる限りの期間、形に残るのでお土産に最高だと考えています。また犬っこの台座となるこの木の方も、稲庭うどんの箱で廃材となる部分を活用しています。湯沢市の観光産業の振興の活性化、持続可能な地域ブランドとして確立していけるよう是非とも力添えを考えていただきたく、提案させていただきました。以上で発言を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 寺田純二 議員

小崎さん大変に丁寧なご提言ありがとうございました。先日、別の会合で小崎さんからただ今ご説明にありました稲庭うどんを使った犬っこまつりに向けた新たなしんこ細工に代わるいなにわうどんの材料を使った犬っこということ、手に取り見させていただきました。本当に素晴らしいものだと思います。やはりこういった、あるものを利用して、また台座の稲庭うどんの箱を使ったものもですね、利活用されている部分ということで、非常に貴重なご意見だと思います。様々な団体さん、またいろいろな関係する部署との連携を取りながらしっかりと形に残るものを今後何か結びつけていければなと思っております。また、湯沢市の文化財保存活用地域計画の中にありますけれども、次世代への継承ということとや郷土の魅力発信ということに関しまして、非常にこちらもなかなかしんこ細工を作る方も少なくなってきておりますでそういった部分で、非常に新しい取り組みだと思いますので、今後一緒に協力しながら向かっていければと思っております。ありがとうございました。以上です



## 大内 一樹さん 「新たな祭りを提案したい」

よろしく申し上げます。いきなりですが、皆さんはうどんエキスポは好きですか。私は子供の頃、うどんエキスポが大好きでした。親に3枚のチケットをもらって、それで各地の有名なうどんを好きなように食べられる。そんなうどんエキスポが大好きでした。ただ、2020年からコロナ禍になってしまい、中止になったり、規模が縮小されたり。最近では、会場が稲川に変更されてしまいました。それにより私の友達の何人かは、行くのをためらったり、断念したりそういう人がいました。そして私もその一人です。このような状態が続くと湯沢は衰退していくだろう、私はそう思いました。



そこで私が提案するのは、「スイーツエキスポ」という祭りです。お手元の資料をご覧ください。私がスイーツエキスポを開催したい一番の理由は、この南中パンナコッタを宣



伝したいという意図があります。これは南中で作ったパンナコッタで、今は南中祭など学校祭で保護者や生徒限定に販売しているものです。ただ、中身はとても美味しく、南中の生徒や保護者だけにとどまらず、みんなに食べてほしいとそういう理由で提案しました。名前のとおりスイーツエキスポの内容は、湯沢市で各地のいろんなスイーツ販売するイベントです。スイーツにした理由は、湯沢市の活性化を図るためです。湯沢市の活性化を図るために、ターゲット

をスイーツ好きな子供や若者や女性にします。また若者や女性をターゲットにすることで子供連れの家族や男女のパートナー同士、そういったお客様を増やすことができると考えました。

次に具体的な内容について説明したいと思います。システムは基本的にうどんエキスポをまねたいと思います。各地のスイーツや湯沢市内のスイーツを集めて、それを販売させます。ただ、スイーツといっても最近は様々な種類があります。和風のスイーツや洋風のスイーツのことです。そのため、スイーツの種類によってブースを区切ることで、より利便性が上がるでしょう。またそれにより、スイーツを懸念する高齢者にも、和風のブースをより一層アピールすれば、若者のみならず高齢者の来場も見込めるでしょう。また、私が考えていなかったことですが、先ほど休憩時間中に1番小崎さんとお話して、ここにお酒を加えるとより大人たちの皆さんが喜ぶんじゃないかなという意見がありました。そこで、湯沢市のお酒のブースも入れればよりいいのかなと思いました。そしてこのイベントにおいて一番手にかかるべき点は、宣伝です。内容が良くてもアピールの仕方が悪ければ、来場者数は見込めません。従来の湯沢市のイベントはテレビやポスター、ホームページが一般的でした。これに加えて私が提案する宣伝方法は、SNSの活用です。スイーツエキスポのターゲット層が若者ということもありSNSを使った宣伝は、大きな影響の期待を持てると思います。今までは県内や市内のお客さんが多かったと思いますが、SNSを使うことにより全世界に情報が発信されて他県からの来場者数も見込めると思います。秋田県最大級のイベントと言っていいイベント、大館のきりたんぼ祭り、ここから何か参考にできる点はないだろうか、私はそう思いました。そこで調べてみると、大館のきりたんぼ祭りの目玉イベントのひとつにステージイベントというものがありました。うどんエキスポもステージイベントがあるものの規模がやはりどうしても大館のきりたんぼ祭りと比べて劣ってしまうと感じました。また、先日秋田魁新聞を見ていると、湯沢市の駅前開発の記事を見ました。そこで市役所前の公民館をイベント会場にするという文章も目にしました。この大館きりたんぼまつり祭りのステージイベントとイベント会場、これを2つ組み合わせるといいと考えました。新設されるその会場に、以前のように地域の団体を呼んだり、また大館のきりたんぼ祭りを真似して、集客の見込める芸能人やアーティストを呼べば、スイーツ以外の目的の人も呼び込めると考えました。

まとめると、若者や女性が主なターゲットのスイーツエキスポ。 宣伝方法として新たに SNS を活用する。新設されるであろう会場により集客が見込めるイベントを開催する。このようなことを私は提案したいと思います。ご清聴ありがとうございました。

#### 宮原 晃議員

貴重なご意見をありがとうございました。簡単に感想を申し上げますと、色々なスイーツを楽しめる企画でスイーツ好きの方々にとってはたまらない企画だと思います。各地域からスイーツを集め、また湯沢南中で発案した“南中パンナコッタ”も販売するという企画も良いと思います。私は日本酒党で、先ほど日本酒のブースもあるということで本当に嬉しく思います。南中パンナコッタも食べてみたいと思いましたし、お土産として購入したいとも思いました。それで、スイーツエキスポを開催するにあたっては、湯沢市でお菓子を製造販売している企業、商店の方々や湯沢商工会議所の力も借りて様々な団体と協議を重ねて企画していかなければならないと思います。私としては、湯沢市に集客のできる企画と思いますので、今後協議して参りたいと思います。そこで質問ですが、湯沢翔北高校で発案し生産している湯沢ジオパークの地熱を利用して三関地区特産のさくらんぼを乾燥させたドライフルーツが湯沢ジオパークの認定商品として販売されております。南中パンナコッタはお菓子のくらたさんをお願いして作っているようですが、湯沢ジオパークに絡めた商品として販売してみたいという話はなかったのかお伺いします。よろしくお願ひします。

**大内一樹さん** ありがとうございます。私はそれは存じ上げてないんですが、是非議会でやってもらえるなら、是非ジオパーク認定商品としてジオパークでも販売してほしいなと思います。

**宮原晃議員** 色々な部分で、今後話合いをしながら、商品として認定できるように頑張ってください。



## 伊藤 圭さん 「移住者の目線から捉える湯沢について」



皆さんこんにちは。伊藤圭と申します。よろしくお願いいたします。私は湯沢で生まれ 高校卒業後、東京へ上京しました。約15年間過ごしまして、今年の2月に戻ってまいりました。東京で結婚をしましたので、県外出身の夫も一緒に今湯沢で暮らしております。湯沢では、人口減少が最重要の課題となっているかと思しますので、どうやって移住者を増やすかという観点でデータを基にお話をさせていただきます。

首都圏に住む20代から50代の1万人の方に対して、内閣官房が行った2020年1月の調査で、回答者の約50%が地方暮らしに関心があると答えています。回答者の2人に1人が関心があるという状況なので湯沢市出身で首都圏に暮らしている方も半

数が湯沢への移住を考えているかもしれないということです。また地方暮らしを検討する上で、欲しい情報のトップ2項目は、仕事と住まいの情報であるという結果でした。報告書の中で年収400 から800万円ほどの人はそれなりの安定感・現状維持を望む人が多く、移住で年収が減るかもしれないと考えると移住しづらくなる傾向がある、という記載がありました。湯沢市に移住者が増えない理由は、収入の低さが関係があるのではないのでしょうか。収入を増やすには企業の売上アップが必要ですが、一方経費を削減することでも同じだけの利益を生み出すことになります。業務効率化をして、今まで3人でやっていた仕事を2人でできるようにしたらどうでしょうか。3人分の給料を2人に払って行ったとしても会社の利益は今までと同じ状態を保てます。この時代にまだFAXを使っていたり、エクセルの関数を使わずに事務処理に何時間もかかっているかもしれません。あらゆることに業務改善のヒントがあると思います。この問題は企業だけに任せるのではなく、企業の業務効率化を支援するような仕組みを議会と行政で話し合ってみてはいかがでしょうか。また、リモートワークができる人は収入の心配をしなくても良いですが、生活面での課題があると思います。都会の忙しさから離れ、悠々自適な地方暮らしを想像するものの、実際湯沢での生活は少しかけ離れていると思います。魅力的な物件は少なく、ほどよく農業をしたくてもハードルは高く、テレワークする施設も少ないのです。子育てなど生活に関する情報発信も足りていないと感じています。自然あふれる景色を見ながらゆっくり仕事をしたいと思う人は多くいると思います。湯沢の今ある魅力を最大限活用して移住者が住みたいと思う環境に整えて、適切な情報を発信をすることが大切ではないでしょうか。ここではあえてどの事業とはお伝えしませんが、成果が出ていない事業に何年もお金をかけてやるだけ時間的余裕も財政的余裕も、今の湯沢市にはないと思っています。市民が納めた税金が、市民のために使われているのか改めて見直して、人口減少の改善に直結する施策に、お金と時間を投資してほしいと思っています。

湯沢市の人口は1年間に約1000人減っていきまして、来年の今頃には4万人を切っていると思われます。2040年には、秋田はなくなるだろうと言われていますが、私は今30代

前半ですので、17年後には50代に突入している頃です。私たちの世代が議員の皆さんの年齢になった頃にはもう残念ながら手遅れで、県や市がなくなってしまうと思っています。自分たちの世代に大きく影響するから、必死に考えています。今日の話をもっと参考になったという程度で終わらせずに、湯沢の未来のために具体的な行動を起こしていただけないでしょうか。個人的な話ですが、現在私は県主催のプロジェクトに参加し、秋田のものを県外に売る方法について、私のアイデアを元にチーム作って話し合いを進めている段階です。私も言うだけでなく、できることをやろうと思って行動しています。是非諦めずに行動し続けて行って欲しいと思っています。私は大切な故郷である湯沢を残していきたいなと思っています。以上です。ご清聴ありがとうございました。

### 高橋 達議員

移住者の目線から捉える湯沢市についてのご発言をいただきました。貴重なご意見であると思えました。このご意見は、もともとこちらの方にお住まいで、旦那さんとこちらに

リターンして戻って来られたという移住者、一般住民さらに若者の視点でご発言いただいたのかなと思っております。今日、出席しております議員14人私と同じように必要なことではないのかなという感想を得たのではないかなと思っております。ただ、人口減少については、この後の皆さん中からもご発言あると思えますけれども、国全体の問題だと思っております。この湯沢市だけの問題ではないというわけです。その部分については国の方、いろんなところで議論されているところではありますけれども、実際湯沢市



についてはこの人口減少プラス高齢化というのが出てきています。やはり、こういう問題に対しては、議会側としても当局との議会の中でいろんな議論を進めているわけではありますけれども、なかなかやはり一足飛びには問題解決になるということはなかなかできないという状況であります。ただそれを黙って甘んじているということはやはりできないと思っておりますので、今ご発言いただいた部分については積極的な政策提言に結びつけていきたいなと思っております。その中で伊藤さんから、行政の方で移住定住に関するあらゆる施策をしているということで、その内容もまああえて（言わない）ということでしたけれども、この部分について、今年度の移住定住促進事業というのは、メインでやってるわけですがけれども、この部分について何か感想があったら一言お願いしたいんですけども、どうでしょうか。

**伊藤 圭さん** ありがとうございます。そうですね、移住したい方に情報が届いてないと思っています。SNSにしても移住者が必要な情報を、先ほどお話ししましたけれども、アンケートで回答者の6割が仕事と住まいの情報が欲しいということをおっしゃってるんですけども、やられているSNSの中ではそのような情報は少なく、湯沢市の雰囲気発信してるものが多いと思います。ターゲットは誰にするか、いろいろあると思えますけれども、日本全国の移住者の取り合いとなってる中で、全然関係ない人に湯沢を選んでもら

うというよりは、湯沢に地元がある方、考えてる方に発信したほうがいいと思うんですね。その時に湯沢の雰囲気というのはもう分かっているものなんですよ、すでに。なので具体的に自分が住んだらどうなるだろうという情報を発信するべきですし、移住者向けにイベントをやられてますけれども、なかなか5年連続で予算をかけてやられてると思いますけれども、移住の成果は0ということで、なかなかそこは市民のお金なのでやってほしいなと思います。あと先ほど日本全国の問題ということで、人口減少おっしゃってましたけど、日本の人口が減っている問題と湯沢市の人口が減ってる問題は実は私は違うと思ってます。なぜ湯沢から人が出て行ってるのかというところに着目して課題解決してもらいたいなと思っています。以上です。

**高橋 達議員** ありがとうございます。それともう1点、この関係のこういう風な移住・定住の他にですね、関係人口というのがよく言われております。この関係人口についての考えについて、何かありましたら最後にご発言いただければなと思います。

**伊藤 圭さん** 湯沢市の施策の中でどういう人と捉えているかというとおそらくですが、そのイベントに参加した方を関係人口として括っているのかなと思うとそれは非常に狭いと思います。なので、湯沢に何かしらつながりがあるというだけで関係人口でなくて、そういう人たちを広く拾い集めるというか。私は東京で過ごしながらか遠隔でボランティアでもいいから湯沢の何かに関わりたいと思って、SMOUT（スマウト）という移住者向けのアプリがあるんですけども、そこで登録をしまして湯沢市にアプローチをしたことがあります。地域おこし協力隊の方にも連絡をしたことがあります。返信はなかったんです。プロボノというサービスがあるんですけども、そこで湯沢市で何かやってないかなと思って登録をして説明会を聞きに行きました。湯沢市はやってないんです。なかなか遠隔で湯沢市を応援したくても、移住を考えていても情報が受け取れないという状況があったので、ぜひそういう視点で改めて情報発信と受け皿がしっかりしてるのかというのを見ていただきたいなと思っています。

**高橋 達議員** 本当にありがとうございます。関係人口については、きっかけ作りとかイベントを通して湯沢を知っていただくと。また、その他に交流人口というような部分もあります。その部分がですね、実際のところ本当に実を結ぶのか。実際の実情としてはそのように仕事、住まいの状況。切実なるそういう状況がしっかり移住・定住者に伝わるような情報発信が必要だという貴重なご意見いただきましたので、議会としても、これをメインに含めましてですね政策提言できるような形にしていきたいなと思います。本日は本当に貴重なご意見ありがとうございました。以上で終わります。

## 小谷 明さん 「ゆざわ-Biz の評価、査定について」

それではよろしく申し上げます。アメリカの偉大な政治家ベンジャミン・フランクリンはこう言いました。不確実性の人生において、「確実なものが二つある。一つは死だ、もう一つは税金だ」と。こういう言葉がありまして、私今回調べたのが、ゆざわ-Biz の効果があるかということ調べさせてもらいました。これはこれまでにない高いレベルの売り上げを中心とした相談、産業支援ということで、月収100万円で専門家を雇い3年間設置して効果がなければやめる、1年更新で成果がなければやめる、ということで2020年から始まったわけですが、2022年去年に3年間の延長が決まりました。その中で、私は檀家さんといろいろおしゃべりした時に、「おたくさんもゆざわ-Biz に相談してみたら」と言いましたところ、「和尚さん、本当にビジネスに才能がある人が月100万でここに来ますか?」と「ラーメン屋の仕事したことあるんですか?」とそういうことを言われてですね、じゃあ本当に効果があるのかなということふと思ひまして、それでセンター長についてちょっと調べてみましたら、確かにベトナムの現地法人をKAWATA建設で立ち上げられましたが、その後どうなったかと言ったら、すぐ撤退して今現地法人はないそうなんです。事業が大きくなっているとかならまだ分かるけれども、その手掛けた仕事がつくなくなっている方を専門家として雇って、月100万で、しかも効果があるのかということ、私は思いましたので、統計学の立場からこの問題をクリアできないかと思って1ヶ月ほど勉強しました。



それで、令和4年度（産業振興部商工課から）レポートが出たので色々このデータを読んでいたんですが、非常に分かりづらかった。その中で参考にしたのがジョエル・バストというアメリカの偉大な社会学の先生ですね。統計というものの嘘、統計はこうして嘘をつくという。数字は嘘をつきませんが、嘘つきは数字を使います。どのように使うのかということで嘘をついてるかどうかははっきり分かるわけですね。それを参考にさせてもらいました。それで分かった結果ですが、2020年の1月から今年22年の3月の事業報告によりますと、販路拡大や新商品開発を目的にした173事業者のうち26.6%に当たる46事業者で売上が上がって、計1億7,796万円、1億8,000万円ほどあったと。そして市の調査に対し相談対応に89.9%、9割が満足。そして前向きになったのが83%と非常に良い成績を残しております。そして各事業の取り組みをされることによる広告宣伝効果は、7,890万円。ゆざわ-Biz がメディアで取り上げられることによる市のブランディング効果は2,159万円。全体のリピート率、2回以上の利用者が7割近かったということで、今回市長は継続を決定したということだったのですが、これをそのジョエルバストさんの本を読みますと、意外なことが分かってまいりました。

ジョエルさんの指摘によりますとこの図をご覧ください。ゆざわ-Bizの利用期間中の売上が、上がったグループをA。逆に相談したけど下がったグループをB。そして利用しなくて売上が上がったグループをC。それで利用せずに売上が下がったのをDとします。売上が下がった人ゆざわ-Bizを利用して売上が上がった数が売上が下がった数よりも、多かったとしても同様にゆざわ-Bizを利用してない人たちの方も、売り上げが上がったのであれば、それは様々な視点から判断すると景気が単に良いということなんで、本当に効果があるというのは分からないです。ですからこの4つを比較してください。そして利用してない人たちが景気が悪い、つまりCよりDの方が大きい。景気が悪い中でBiz利用者の売上が上がった方が上であるならば利益効果はあると判断されます。そして景気が悪い中でBiz利用者の方が、売上が悪い方が増えたのであるならば、効果は分からない。そして、売上が良い中でBiz利用者の売上がアップしたのであれば、それは景気がいいのか、それは別のおかげであるのか分からない。景気がこれで分かりますよね。皆さんもう1回言いますよ。AよりBが大きくてBiz利用者の売り上げがダウンしたよりも大きくて、かつ利用しない人も売り上げが景気が悪い中でAが上がったのであればそれはOK。私が言いたいことは今回の（レポートの）中ではAの数だけ言った。つまり7割は、売上が上がらなかったわけです。上がらなかった人の方が多かった。それで上がった人の額が1億なんぼと言っても、下がった人がどれだけ下がったかということ、それを換算しないとダメですから、全体利用者の中で売上が上がった人から下がった人の額を引いてかつ経費を引いてそれがプラスであれば効果がある。それ以外は効果がないということになります。ですからBizには効果がございません。このレポートは商工課が商工課の都合の良いように作ったレポートでありまして、この評価は統計学の専門家、大学の先生等に判断してもらってそれを議会の人たちが判断するという形にしてもらわないとダメではないかなと思ひましてお話に変えさせていただきます。どうもありがとうございました。



景気が単に良いということなんで、本当に効果があるというのは分からないです。ですからこの4つを比較してください。そして利用してない人たちが景気が悪い、つまりCよりDの方が大きい。景気が悪い中でBiz利用者の売上が上がった方が上であるならば利益効果はあると判断されます。そして景気が悪い中でBiz利用者の方が、売上が悪い方が増えたのであるならば、効果は分からない。そして、売上が良い中でBiz利用者の売上がアップしたのであれば、それは景気がいいのか、それは別のおかげであるのか分からない。景気がこれで分かりますよね。皆さんもう1回言いますよ。AよりBが大きくてBiz利用者の売り上げがダウンしたよりも大きくて、かつ利用しない人も売り上げが景気が悪い中でAが上がったのであればそれはOK。私が言いたいことは今回の（レポートの）中ではAの数だけ言った。つまり7割は、売上が上がらなかったわけです。上がらなかった人の方が多かった。それで上がった人の額が1億なんぼと言っても、下がった人がどれだけ下がったかということ、それを換算しないとダメですから、全体利用者の中で売上が上がった人から下がった人の額を引いてかつ経費を引いてそれがプラスであれば効果がある。それ以外は効果がないということになります。ですからBizには効果がございません。このレポートは商工課が商工課の都合の良いように作ったレポートでありまして、この評価は統計学の専門家、大学の先生等に判断してもらってそれを議会の人たちが判断するという形にしてもらわないとダメではないかなと思ひましてお話に変えさせていただきます。どうもありがとうございました。

**石川隆一議員** ゆざわ-Bizの評価、また査定について、ご指摘ありがとうございました。ゆざわ-Biz に関しては市の肝いりで始めた事業なのですか、令和2年1月からスタートして、いわゆる知恵を出してできるだけ無料で対応するという事で始めました。リピート率、それからの相談者の満足度、様々な視点から判断させていただきましたけれども、今この統計学のお話がありました。確かにこのAの売上に対してBCDのそれぞれを上回るだけの売上があった場合はある程度評価できるということなんですが、これはいわゆる相談者以外の非利用者も含めてですね。調査する場合にこういった形で例えばこういった形でやるのか教えていただきたいです。

**小谷 明さん** 湯沢の全体の市民にアンケート取ります。この3年間で景気は上がりましたか、下がりませんでしたかと。この市民アンケートで、「上がってます」と回答した人をC、「上がってない」と回答した人をDとします。そしてBizを利用して売上が上がりましたか、上がりませんでしたということを尋ねます。そして湯沢の景気がいい中で売上が上がったのであれば、それはどっちかわからない。湯沢の景気が悪い中で売上が上がったならば効果がある。そしてそれ以外です。いずれにせよ今回のデータでは利益が上がったっていうのは3割いってないですよ。7割以上が利益が下がったって利用者が言っている。この時点でゆざわ-Bizには効果がないということがもう出ているんです。それ以外の満足度とかそういうのは、売上が上がる上がらないには関係ないんですよ。お医者さんがね、この人非常に優しい方だけど（患者が）死にましたって言ったらお医者としたら才覚があるかといえ別話でありまして、こういう簡単な数値で出すべきであり、それ以外の項目はいかに数値が良くてもその人をうまく見せるために付け足した、砂糖をかけているようなもん、ケーキにね。砂糖をかけて甘くしてるようなもので本質的な評価にはなりません。むしろそういう評価はやめるべきだと思います。この4つだけで全てが出来ます。以上です。

**石川隆一議員** 小谷さんが言われたようにですね、その評価レポートを見ますとやはりあの文書が多くて数値的な部分もあまり見えないということで、私も同感です。ただ統計学的には1つはそうなんですが、様々な相談者との面接や色々アンケートを聞き取りをする上で様々なその中から生まれるものもあるわけなんです。まずはその売上の向上に結びつくことは当然そうなんですが、それから第一歩を踏み込んでそれから売上が向上したうえでどの程度会社の所得が増えて市の税収が上がるかということも、これは数値として今度出てくるわけですね。そういう面でも一歩踏み込んでこれは調べるべきではないかなと思います。その点に関してはいかがでしょうか

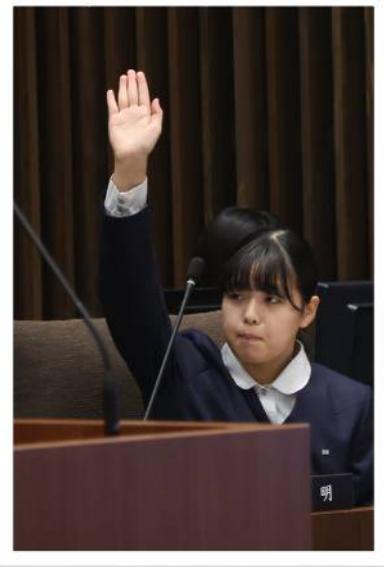
**小谷 明さん** それは社会的投資利益率ということでこのレポートにも書かれてますが「とらぬ狸の皮算用」でありました。その数値がいくら良くても実際の景気がいいかどうかは別の問題です。ただこれを利用して売上が上がったか上がらないか、それが意味があるかないかで判断すべきであって、未来のことを言ったのであれば、それはどうしようも判断できないです。今までの仕事に対する評価は、「価値はない」ということは明らかになっているとこれは一点だけです。

**石川隆一議員** ご指摘いただいたことも含めてですね、当局とも再度協議してみたいと思いますので、ありがとうございました。



## 佐々木美空さん「湯沢市に若者を」

湯沢市では 今人口減少が加速してきており過疎化による人手不足や経済の衰退、地域のつながりの希薄化など様々なところに影響を及ぼしています。今のままでは 湯沢市が崩壊していく未来はそう遠くありません。私は去年 高校入学と同時に この秋田県に引っ越してきました 湯沢市に初めて来た時に見た自然の豊かさや満天の星空を見てとてもきれいで感動したことを今でも覚えています。新たな発見や感動の連続で、たちまちこの湯沢市が大好きになりました。ですが 湯沢市で暮らしていくうちにいいところばかりではなく、だんだんと過疎化してきていること、あまり栄えていないということが明らかになっていきました。今の状況を何とかしたい、そう思った私は今、若者や女性が輝くまちづくり推進協議会という団体に所属し 湯沢市に若者や女性を活躍できるような地方創生政策を市民の方々や 市役所の方と一緒に考えています。その話し合いの中で思ったことや、湯沢市がこうであってほしいということを今日はお話したいと思います。毎年湯沢市から 1,000 人弱の人が市外に放出し、流入する人は 100 人少しと、出て行く人とは比例せず、つり合いが取れていません。減少し続けている人口をいきなり増加させるということは難しいので人口の出を少なくする、人口を保っていく上でやるべきことは、県内の方だけでなく、県外の方に湯沢市を知ってもらうことだと思っています。そのために、湯沢市の情報をいつでもどこでもわかる、知ってもらうために、動画・映像での発信が良いのではないかと思います。TikTok やインスタグラム、YouTube のショート動画など、目



に見える形として湯沢市の魅力を定期的に発信してだけでなく、湯沢市のマスコットキャラクターこまちちゃんを活用した湯沢市の日常やイベントの告知、ユーモアの効いた動画の作成などを行い、マスコットキャラクターの認知度を上げ、こまちちゃんといえば「湯沢市」という印象づくりを図っていくことが大切だと思います。また、動画作成の際は市役所の方が全て行うのではなく、中学生・高校生・大学生や一般市民の方から立候補し、ともに動画を作る動画作成部を結成し、市と市民の関わりを持って SNS を通じて 湯沢市を広めたいと考えて



います。市と市民が協力し合っていく中で、市民にとって市をより身近に感じることができ、団結力が生まれ、やがてその部分も湯沢市の魅力となってほしいです。

2つ目の案としましては、先ほども挙げたように地域住民や学校、市との関わりを深め団結力を図るために地域企業との協働的取組の場を作ることです。例を挙げますと湯沢翔北

高校さんが行っている市内の農園と協働して田植えや植物栽培を行い市民の行いを高校生は学び知っていく活動。またJR横手駅と横手高校、大曲農業高校、横手城南高校、鹿島朝日高校と一般社団法人Sail on Japanさんが企画したジェラート店「Stella(ステラ)」が横手駅内にオープンしました。これは地元の食材を使い地産地消や企業との協働で行っています。高校生は企業と行うことで企業を知ることができ、市民の方は商品を見て買い、高校生や企業の頑張りを見ることができる、というような地域との関わりをもっと増やしていくべきだと思います。今は、地域と学校、市で壁があるように思います。地域との関わりを持って、団結力を上げていくことが今すべきことだと思います。たとえこの政策を実際に行い、すぐに成果が現れなかったとしても、湯沢市が変わるための一歩として踏み出せると思います。今の湯沢市を残していく、発展のために今何ができるのかを考え、湯沢市出身であることに誇りを持てるようなきっかけを作り、活動を通して湯沢市の魅力を見つけ、もっと知りたいと思ってもらえるような市にしていきたいと思ったのでこのような施策を提案いたします。以上で発言を終わります

**小田嶋秋一議員** ありがとうございます。若い人が湯沢市のことを真剣に考えているということで、非常に刺激を受けさせていただきました。今の若い方はSNSが得意で、いろいろなツールを持ってやられているようですが、美空さんは、SNSで湯沢市の関係する何か効果があったという経験はございますか。

**佐々木 美空さん** 私自身はそういったことはないのですが、他の市がSNSを活用して市を宣伝しているという動画を拝見してとてもいいなと思い、湯沢市も真似したらよいのではないかという意見・思考に至ったので今回このような発言をさせていただきました。

**小田嶋秋一議員** なかなか私どもがそういうツールを使いこなすというのは難しいんですけれども、若い方々のそういう、なんていうか力をお借りして、地元のいろんな産業とか観光ですね、色んなこないだテレビにも大湯滝が出ていたように、非常に全国に誇れるようなものがございますので、ぜひご協力くださるようお願いいたします。以上です。



## 鈴木義昇さん 「5年後～10年後の湯沢市の未来」

全国的に少子高齢化時代に突入しています。この湯沢市でも過言ではありません。少子高齢化問題は皆さん何時から問題になったかご存じでしょうか。1970年代には少子化になると言われていたのですが。政府や地方が何もしないで今に至ります。今さら産めや増やせやの戦前的なことを話しても急には増えません。兵庫県明石市は色々な問題に力を入れて人口を増やし、子供も増えていると聞きました。この湯沢市でも子育て・福祉問題に力を入れて秋田で消滅都市一番を挽回しませんか。例えば出産費用は無料、出産育児一時金を子育て世帯に50万円お祝いに渡すなど。3歳になると削減される児童手当を湯沢市独自に補助を出して月1万5千円を維持するなど。そして駅前出来る複合施設に室内遊具施設、別紙に記載されております他市の遊具をご覧ください。赤ちゃんから幼児まで、幅広く天候に左右されずに遊べる施設を是非設置してください。湯沢市の衰退具合はすさまじく進んでいます。私が子供の時には遊ぶ店には困りませんでした。それが、今は全て閉店してしまいました。湯沢市のシャッター通りをご覧ください。若い方が店を開店しやすい補助金を素早く出すなど。湯沢市は消滅します。湯沢市の広報は皆さんご覧になってますか。亡くなる方が生まれてくる子供の約10倍も多いのです。現状だと消滅が近づくのが誰が見てもわかるはずです。私自身この状況に非常に歯がゆいので、この問題を解決したいので次の湯沢市会議員選挙に出馬を考えております。



私の意見を聴いてくださり、議員の皆様、職員の皆様に感謝を申し上げまして終わりにさせていただきます。ありがとうございました。

### 加藤昭嗣議員

鈴木様からは5年後、10年後の湯沢市の未来ということで、多岐にわたり本市の少子高齢化問題に関してご意見・ご提言をいただき誠にありがとうございました。様々な発言の中で私は、兵庫県明石市について意見を述べさせていただきたいと思います。実は、私が所属する教育民生常任委員会では、本市の課題である少子高齢化や子育て支援全般に対して、やはり鈴木様と同じく危機感を抱いておりました。この中で子育て支援の先進地と言われております明石市の取組について今年の7月に現地に赴いて、実際にその風土を肌で感じたうえで、担当者からお話をお聞きしてまいりました。そこで感じたのは、前市長である泉市長の強力なリーダーシップによりまして、子育て支援に力を入れると経済が良くなる、との考えから明石市では他の自治体から転入が9年連続



で増加しております。どういふことかと申しますと、明石市で生活することは安心につながり、人口が増加し、賑わいが増し、年収が増え、さらに新たな市民サービスが提供できる、そういったサイクルが確立されているということでもあります。

本市においては、明石市との地理的な条件、財政的な面での環境の違いはございますけれども、市民ニーズを的確にとらえて、適宜見直しを図りながら、支援事業を継続していくことが重要であると思っております。湯沢市議会としましても、今回の一日議会をはじめまして議会フォーラム、さらにマチトーク!!など様々な場面で市民の皆さんと意見交換を積極的に実施することでニーズの把握に努めながら、市当局に対して随時提言をしてまいりたいと思っております。そして、引き続き財源の確保に努めていただきながら、子育て支援、少子高齢化全般にわたり政策を講じていただくことを要請してまいります。

そこでお聞きしたいのですけれども、今回資料をいただきました共有資料の中の山形市の子育て室内遊戯施設についてでありますけれども、ご承知のとおり佐藤市長の強い思いもありまして、類似施設でありますけれども駅周辺の複合施設に建設予定でございます。そこで今回の鈴木様の発言の中で、赤ちゃんから幼児まで幅広く天候に左右されない遊べる施設の設置を希望されておりますけれども、私も本当にそのとおりだと思っております。

そこでこの室内遊戯施設をはじめ、これから建設予定の複合施設において、やはりですね人々がにぎわうための施設であるというふうに思います。そうした中で、何かこの複合施設においてご意見ご要望など、どのようなものがふさわしいのか、そうした面なにかお考えがあればお聞きしたいと思います。

**鈴木義昇さん** ありがとうございます。この写真は、私の妻の故郷であります山形市の室内遊戯施設でございます。天候に左右されず月曜日から日曜日まで人がたくさんいるんです。人がたくさんいるということは、他市からも集まるということです。その遊具施設をぜひ設置していただいて、「ああ、湯沢市に住めばよかった」「湯沢市で生まれればよかった」「次は是非湯沢市で子供を産んでみたい」そういう思いでこの写真を載せました。以上です。

**加藤昭嗣議員** 貴重なご意見ありがとうございます。これからこの複合施設に関しましては、設計等々に入っていくわけですが、是非今日頂いた意見などを参考させていただきながら、市当局の方にも、提言させていただきたいと思っております。今日はありがとうございます。

## 菅 籠希さん 「いつでも気軽に立ち寄って体を動かせる場所がほしい」

ぼくは、いつでも気軽に立ち寄って体を動かせる場所がほしいと思います。普段、ぼくたちは、学校から帰ったときや休みの日に、どうしてもゲームや動画を観る時間が多くなり、メディアコントロールが課題となっています。スポーツ団体に所属して体育館やグラウンドで運動をしている人もいますが、友達と外で遊ぶ機会は決して多くありません。まわりの友達に聞いてみると、集まって遊べる場所が少ない、家の近くに遊べる友達が少ないという声がありました。だから、みんなが気軽に集まれる場所、運動が苦手な人でも体を動かしたり遊んだりできるようなところをもっとあるといいと思いました。



そこで、三つのことを提案します。

一つ目は、そこに行けば、子供もお年寄りも楽しく交流できる施設をつくることです。バドミントンやボールなど、自由に使える道具が置いてあって遊べたり、ボードゲームや昔遊びなどが置いてある部屋があって交流できたりするのもいいと思います。

二つ目は、それぞれの地区の小さな公園を整備することです。今は、遊具が古くてさびていたり、雑草や石ころで地面がでこぼこだったりしていて、遊びやすい場所とは言えません。転べばけがをしそうなところや、虫が多くて近づきにくいところもあります。もう少し整備されて、新しい遊具やベンチなどがあったら、もっと明るく安全でみんなが行きたくなるような、地域の人が集う場所になると思います。

そして、三つ目は、アスレチックなどのある道の駅です。ぼくたちの住んでいる湯沢市の北側にも道の駅がほしいです。車通りも多いので、味噌や醤油など地元のおいしいもの、伝統ある「まなぐ凧」や「犬っこ」「七夕絵どうろう」など、ぼくたちが調べた湯沢の魅力を来た人に紹介する、情報発信コーナーをつくれれば、湯沢の知名度も上がると思います。そこに、アスレチックや巨大トランポリン、遊具、休憩できるベンチなど、住んでいるぼくたちも自由に立ち寄れる公園や施設があれば一石二鳥です。

このように、みんなが集まれるような魅力ある場所が増えれば、湯沢市の活性化につながり、みんなが運動不足を解消して体の健康を保ったり幅広い世代の人と交流したりして、より楽しく活気ある湯沢市になると思います。これで提案を終わります。



**佐藤愛子議員** とても素晴らしい提案だと思いました。私たちが幼い頃は遊び場所に困ることは本当にありませんでした。今は遊び場所が限られていて、外に出る機会が減ってきているのがすごく残念だなと私も思います。人が集まる場所の整備にもっと目を向けていけたらと思っておりました。先ほど、加藤議員がおっしゃられていた湯沢の公共施設、すごく楽しい場所になるといいなと、私も期待しております。

皆さんの声をこちらのみんなで考えていきますので、いっぱいいっぱい提案をありがとうございました。

## 柴田貞宏さん 「音楽のまちゆざわを吹奏楽で盛り上げよう」



まずもって 今回、このような機会をいただきましたことに対しまして、関係者の皆さん方にお礼申し上げます。せっかくの機会ですので発表させていただきたいと思います。

さて、市内にあります学校の吹奏楽部やスクールバンド部はそれぞれの学校におきまして 日々の練習に励んでいることと思います。他の部活動と同様に児童生徒数の減少は、部員数の減少にもつながることもありますの

で、編成等に悩まれていることもあろうかと思われま。そうした厳しい環境の中にあつて 近年 各種コンクールで好成績を上げる学校も増えております。市内の子供たちが通う小中学校はもとより 市内にある高等学校も含めてであります。まさに音楽のまち湯沢にふさわしい活躍と言えるのではないのでしょうか。こうした子供たちの頑張りの知らせに触れるにあたって。音楽のまちとして市民の皆さんがその活躍を後押しし活動を盛り上げていくために何かできることはないかと考えたのが今回の発表のきっかけです。そこで私は次の2点を提案したいと思います。

1点目は市民の皆さんが各校吹奏楽部の演奏を聴く機会を増やすことはできないでしょうか。現在でもイベントなどで演奏に触れることはありますが、文化会館などで演奏を聞く機会が増えると、より身近に吹奏楽を感じられるのではないのでしょうか。何より大勢のお客様の前で演奏する子供たちにとっても励みと自信につながるのではないのでしょうか。

2点目は近隣の学校の吹奏楽部を市に招待しての演奏発表会ができないでしょうか。近隣の他市町村や他県のほとんどの中学校や高等学校には吹奏楽部がありますし、中には

吹奏楽の強豪校と言われる学校もあります。市民の皆さんがそうした市外の学校の演奏を聞く貴重な機会になると思います。また、そうした学校と触れ合うことで互いに切磋琢磨し、同時に学校同士の交流を図ることができるのではないのでしょうか。

2点とも、人員の輸送や楽器の運搬などで経費を必要とするものです。何より練習時間の確保という点からも難しいことがあろうかと思いますがご検討いただければと思います。音楽のまち湯沢を吹奏楽で盛り上げるとともにこれから少なくなっていくであろう子供たちを市民の皆さんで応援していければと思います。その上で湯沢市がますます活気にあふれ、一層発展していくことを祈念いたしまして発表を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

#### 佐藤 勝議員

音楽のまち湯沢を吹奏楽で盛り上げようということで、共感できる部分が多々あった発言内容であったと思います。本市において、月イチコンサートであったり、本日も湯沢文化会館の方で湯沢市民管弦楽団の方々が演奏されておりますが、今日は行けなかったんですけれども、残念だったなと多分柴田さんも同じご心情ではないかと考えております。また、この吹奏楽の演奏をする上でも、やはり先ほど柴田様からもご指摘ございましたけれども、楽器の搬入搬出、後は会場の設置や音響、そういった多大な労力が必要となってくるわけでございますけれども、こういった点をですね、何かカバーできるようなお考えがもしございましたら伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。



柴田貞宏さん そこまでは考えは持っておりませんので、ただあの楽器の搬入搬出それから輸送ということでかなり経費がかかるものですから、これはもう学校の範囲を超えているということで、行政部局にお願いできればなということです。お金のかかるものについては、行政がいかにか支援できるかが勝負ではないかと私は考えております。

佐藤 勝議員 確かにおっしゃる通りだと思います。本市には、音楽のまちゆざわ推進協議会といったものがございます。この協議会の中に一般市民の方のボランティア登録といったものがございまして、現在20名ほどのボランティアの方々が登録されております。こういったボランティアの方々がこうした搬入・搬出の手伝いであったり会場設置、こういったことにご協力いただいているわけでございます。先般（推進協議会の）事務局の方とお話する機会がありまして、こういったボランティアスタッフの募集といったものについては、こういった形で行っているのかという内容でお話をさせていただきました。今後そういった募集に関して周知の輪を広げていきたいと強い気持ちを申し上げておりましたので、今後そういったボランティアスタッフの輪を広げるような形が生まれてくると

思いますので、そういったことにおいても 柴田様のご協力をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 池田優奈さん 「SNS で地域コミュニティを豊かにしたい」

私は、現在湯沢市で行われている地域コミュニティを活性化するための活動を、SNSを通してもっと多くの市民の方や、県外の方に伝えたいと思っています。私は、以前高校の授業で「いんない未来塾」が主催する「いんない大収穫祭」に参加しました。そのイベントには学校の先生からの勧めで参加を決めましたが、実際に参加する前まではイベントの雰囲気あまり分からず、不安な気持ちが多くありました。しかし、実際にイベントに参加してみると地域住民の方が快く迎え入れてくれて、積極的に話しかけてくれたため、イベントを楽しむことができました。このとき、イベントに参加する前に以前参加した先輩の感想や実際の映像をみることが出来ていれば、もっと気軽にイベントに参加することができていたと思いました。そのため、地域を盛り上げるイベントに少しでも興味がある人のために、実際に参加した人の感想やイベントの雰囲気を伝える機会を作りたいと思いました。



現在、湯沢市ではNPO法人Cycleやいんない未来塾、各地域の協議会によるいんない大収穫祭や桜の保全活動、住民約300名が集まる演奏会の開催など様々な地域コミュニティを活性化するための活動が多く行われており、秋田県市民活動ネットやあきた元気ムラなどでイベント情報が発信されています。しかし、最後に更新されたのが2年前であったり、写真がなく文章での説明など、見た人に具体的なイベントの内容が伝わりにくいと感じました。また、詳しい内容が伝わらないために、イベントに参加するのをやめてしまう人もいるのではないかと思います。そのため、ローカルインフルエンサーの力を借りて、Inst Agr AmやyoutuBeで投稿してもらうことで、現在湯沢市で行われている活動をさらに多くの人に知ってもらえるような機会を作るということを提案したいと思います。

現在行われているローカルインフルエンサーによる地域活性化の実例の例としては新潟県三条市を中心に活動しているyoutuberの『むらびーと』さんやInstagramで広島県広島市の魅力を伝えている『momo』さんがいます。湯沢市で起用するローカルインフルエンサーの候補としてはyoutubeで秋田県を中心に観光スポットや懐かしさ、グルメを紹介している『とものまいペース日和』さんとInstagramで秋田県の星空などの美しい景色を投稿している『@atsushi\_ogawa87』さんが良いのではないかと思います。

ローカルインフルエンサーを起用するメリットは3つあります。まず1つ目は、フォローとの距離が近く影響を与えやすいという点です。ローカルインフルエンサーは一般的なインフルエンサーに比べて地域に根づいた情報を発信しているため、特定の地域でのフォ

ローワーがつきやすいです。また、ローカルインフルエンサーは地域との距離感が近いために、共感を呼びやすいのも特徴です。2つ目は、地域特有のコアな情報を発信できるという点です。そのため、地域住民だけで行われている地域活性化のためのイベントの情報を発信するのにとても適しています。3つ目は、データ取得ができ効果を分析しやすいという点です。投稿に対しての反応が多ければ、それだけ多くの人に興味を持ってもらえているということになるため、その地域のアピールするべき強みを見つけることができます。

このように、ローカルインフルエンサーの力を借りて、湯沢市で行われている地域活性化のためのイベントを多くの人に知ってもらうことにより、湯沢市に興味をもって実際にイベントに参加する人が増え、今よりもさらにイベントを盛り上げることができると思います。それにより、地域住民の地元を誇らしく思う気持ちが強くなり、イベントを成功させようと住民同士の支え合いや団結力がより強いものになると思います。また、実際にイベントに参加した人がその地域の魅力に触れてそこに定住したいとも、思ってもらえると思いました。そのため、地域コミュニティ活性化のためのイベントの情報をより多くの人に知ってもらうために、ローカルインフルエンサーを雇用するための予算の確保を検討していただきたいです。以上です。ご清聴ありがとうございました。



#### 大山 豪議員

貴重なご意見ありがとうございました。地域コミュニティの SNS の活用についてのテーマだったと思いますが、地域コミュニティ自身が、SNS を使って発信するという内容なのか、それともそのローカルインフルエンサー、いろいろ事例を示していただきましたけれども、このような方々に「こんな活動している団体がありますよ」というふうに広めていただくとするものなの

か、どちらかお伺いしたいと思います。

**池田優奈さん** ありがとうございます。私はローカルインフルエンサーの力を借りて、今ある地域コミュニティを活性化するための活動を発信してもらうという形で考えています。

**大山 豪議員** わかりました。色々 SNS の活用については、全国いろいろな事例がありますので、私も研究したいと思います。あまりこの辺りは知らなかったところもありますので、貴重なご意見ありがとうございました。

## 5)スナップショット



本日の流れを確認中



議場に入場



資料に目を通します



いよいよ始まります



登壇前に一礼



発言の様子



発表の様子



ふう、終わった



副市長と教育長から感想をいただきました



記念品をお渡ししました



終了後に記念撮影 皆さんたいへんお疲れ様でした。

## 5. アンケートの集計結果

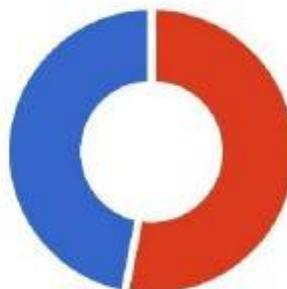
### 1) アンケート(参加者・傍聴者)

お住いの地域をお知らせください。



- 湯沢地域 : 13 (76.47%)
- 福川地域 : 0 (0%)
- 雄勝地域 : 1 (5.88%)
- 皆瀬地域 : 0 (0%)
- 湯沢市以外 : 3 (17.65%)

あなたの性別をお知らせください。



- 男性 : 8 (47.06%)
- 女性 : 9 (52.94%)

あなたの年代を選択してください。



- 20歳未満 : 4 (23.53%)
- 20歳代 : 2 (11.76%)
- 30歳代 : 2 (11.76%)
- 40歳代 : 4 (23.53%)
- 50歳代 : 1 (5.88%)
- 60歳代 : 1 (5.88%)
- 70歳代 : 2 (11.76%)
- 80歳以上 : 1 (5.88%)

ゆざわ市民一日議会の開催について何で知りましたか。



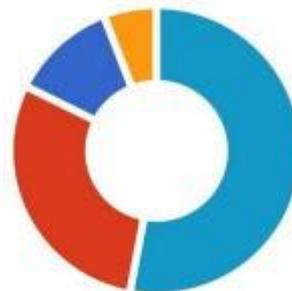
- 湯沢市議会だより：5 (22.73%)
- 市議会議員からの案内：3 (13.64%)
- 市議会ホームページ：2 (9.09%)
- チラシ・ポスター：8 (36.36%)
- SNS：1 (4.55%)
- エフエムゆーとびあ（ラジオ）：0 (0%)
- other：3 (13.64%)

ゆざわ市民一日議会議員として参加したきっかけを教えてください。



- 自身が参加しようと思ったから：5 (29.41%)
- 市議会議員から誘われたから：1 (5.88%)
- 友人・知人から誘われたから：1 (5.88%)
- other：10 (58.82%)

ゆざわ市民一日議会を傍聴した理由を教えてください。

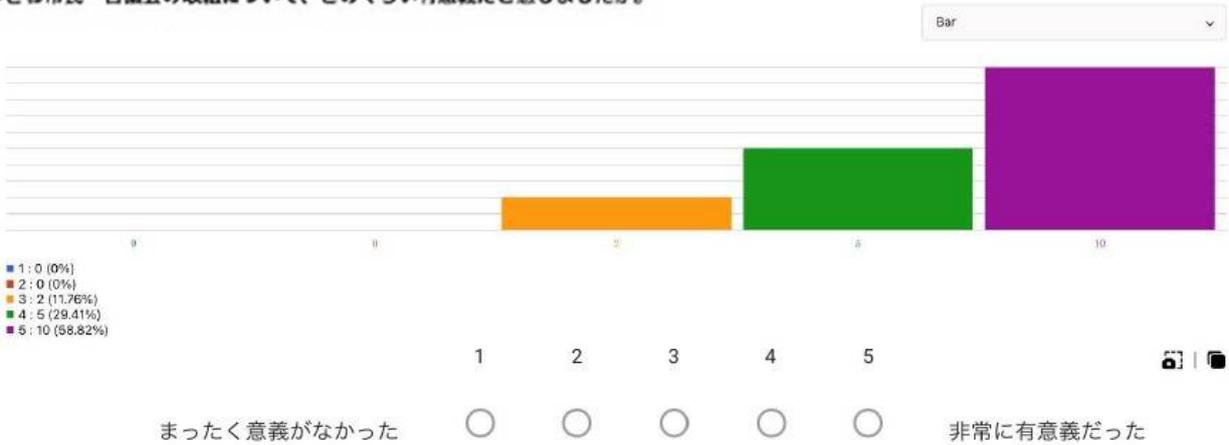


- 普段から市議会を傍聴しているから：2 (11.76%)
- ゆざわ市民一日議会に興味があったから：5 (29.41%)
- ゆざわ市民一日議会議員が知り合いだから：1 (5.88%)
- ゆざわ市民一日議会議員の家族や友人だから：0 (0%)
- 家族・友人・知人に誘われたから：0 (0%)
- other：9 (52.94%)

市議会の活動報告について、内容（広聴活動の目的など）を理解できましたか。



ゆざわ市民一日議会の取組について、どのくらい有意義だと感じましたか。



ゆざわ市民一日議会に次回も参加したいと感じましたか。



ゆざわ市民一日議会に参加して、「気付き」や「発見」はありましたか。

13件の回答

今日の一日議会が有意義かどうかは、今後いかに検討されるかだと思います。

参加してみると、少し難しい意見がとびかい、難しいかったけれど、楽しく聞くことができました。社会の教科書で見た時より具体的でとてもおもしろく、楽しく湯沢の活性化の意見を聞けました。

新しい政策を提案するだけでなく、今行われている事業に対する意見もあって、改めて一日議会が良い取組だと思いました。

知り合いが増えて嬉しい。「ゆざわ Biz いらない」って発言に腹が立った。

個々意見は違えど、湯沢市を良いまちにしたい!!という想いは一緒だと感じました。市の統計の仕方を変えろということだと思う。

色々な意見・発見があり、とてもおもしろかった。

自身では気付くことのできなかつた内容について、知ることができた。共通して、人口減少が問題になっていた市の取り組みについて、新しい考えを身に付けることができた。

湯沢市の「今」を一番多角的に見られるのは「外」から来た人達なのではないでしょうか。こういった多くの意見を寄せてもらえる機会を作るべきかと思いました。

※他市町村との比較等がありましたが、「湯沢市」に合っている内容なのか財源をどうするのか考えさせられる発言もあり、議員さんの対応も大変だなあ👏と感じました。

皆さん大変に湯沢市を愛しての発言であり、楽しく又たのもしく思いながら湯沢市の発展をいと嬉しく思いました。

広報等の市議会だより等をみるのよりもわかりやすい説明それに対しての市議会議員の質問もわかりやすかったです。

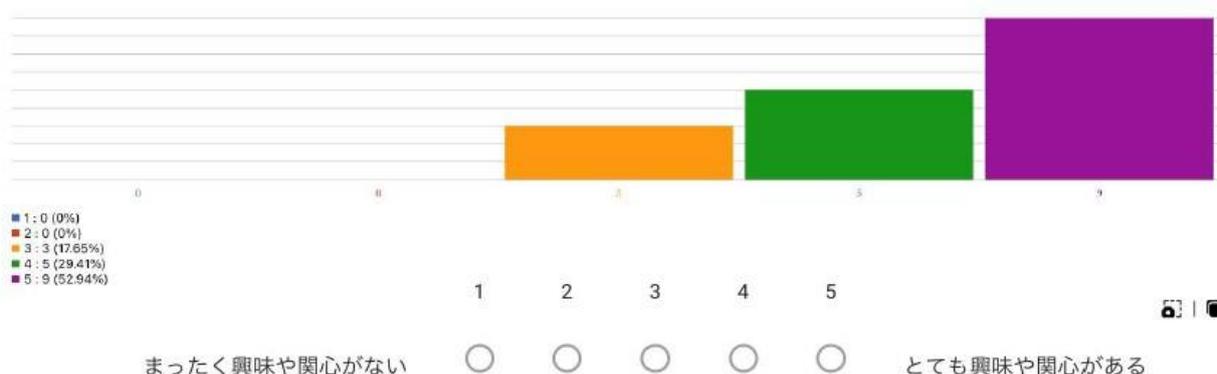
市の事業があまり市民に浸透していないと感じた。情報発信が課題だと思います。

湯沢市民が感じている課題は共通していると感じた。湯沢市は課題に対して必要な施策に的を絞って取り組んでほしい。

開かれた議会ということで議員さんの様子、議会活動というものの解像度が上がり、身近に感じることもできた。実際に参加する、観ることが選挙に参加する以上に有意義に感じることもできた。もっと多くの人に参加してほしいと思った。

移住者の方のご意見身にしました。

あなたは市議会の活動に興味や関心がありますか？



## 自由記述(ご感想やご意見などをお聞かせください)

7 件の回答

とてもいい発表会だったとおもいます。ぜひ、実現していただきたいです。

とてもおもしろく、周りの人も優しく接してくれたので、とても良い雰囲気でした。

ゆざわ Biz から「いなにわしんこ細工」が産まれました。アキスターと小川さんをつないで頂きました。藤田さんのアドバイスで補助金申請ができました。絶対に無くさないでください!!利益上げて湯沢市に還元するので!!絶対!!絶対!!

今回の意見が市議の皆さんの気付きになれば幸いです。(議員からの感想だけではなく、行政からの答弁が一言あれば嬉しいです)

今回初めての参加でしたが、有意義でした。

大変有意義なイベントでした。

・1 日議員の皆さんに関しては、参加すること発言することに意義があることは理解しているが、声が反映されるためには、具体的に議論、話し合いをする場を作ると共に、議員の皆さんの声を形にする提案を聞きたいと思いました。中高生による、このような場を開いてほしいです。

## 6. ゆざわ市民一日議会を終えて

### 1)湯沢市議会第4回(12月)定例会一般質問

令和5年12月11日、12日及び13日に行われた第4回定例会本会議における一般質問では、ゆざわ市民一日議会で提案された意見などに関連した内容の質問がありました。一般質問の質疑については湯沢市議会ユーチューブチャンネルで動画を公開しております。以下のQRコードをお読み取りいただき、ぜひご視聴ください。

湯沢市議会議長 様

湯沢市議会議員 (12番) 高橋 達

項目	質問事項 / 細目・質問内容	答弁者
1	湯沢市人口ビジョンについて	
	① 本市における人口減少をどのようにとらえているのか伺う。	市長
	② 本市における人口減少問題は解決できると考えているのか、率直な考えを伺う。	市長
	③ 本市の将来の姿はどうあるべきか、市長の見解を伺う。	市長
4	SNSによる情報発信の在り方について	
	① SNSによる情報発信に関する本市のスタンスについて伺う。	市長
	② 移住・定住に関する情報発信については、市民の方々から多くの指摘をいただいているが、市としてはどのようにとらえているのか伺う。	市長



項目	質問事項 / 細目・質問内容	答 弁 者
1	ゆざわ-Bizの指導体制と評価について	
	① センター長の指導体制による現状の課題と今後の改善点について伺う。	市長
	② 起業の準備段階から支援する「創業スタートアップ補助金」の交付申請の概要と申請者の活用状況や効果について伺う。	市長
	③ 今後のゆざわ-Bizによる支援体制について、市内経済団体や金融機関等との緊密な連携を行い、より実効性のある支援を進めるべきと考えるが見解を伺う。	市長



項目	質問事項 / 細目・質問内容	答 弁 者
2	人口減少・少子高齢化対策について	
	① 急激に進む人口減少や少子高齢化については、歯止めがかからず加速している。この危機的状況をどのようにとらえているのか伺う。	市長
	② 少子化対策として、若い世代への支援策（未来投資）を実施しているが、取組の成果と今後の課題について伺う。	市長
	③ 子育て世帯の負担軽減を図るため、小中学校の学校給食費の無償化に取り組むべきと考えるが、市長の見解を伺う。	市長



項目	質問事項 / 細目・質問内容	答 弁 者
2	子育て世帯への支援策について	
	① 物価の高止まりにより、子育て世帯の家計負担が増加している状況が続いているが、今後、本市として独自支援策を考えているか伺う。	市長
	② 住民税非課税世帯に対しては、手厚い支援をされているが、今後、住民税均等割のみ課税世帯に対しても支援を行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。	市長







～自分の思いを議場で発信～  
ゆざわ市民一日議会  
開催報告書

〒012-8501 秋田県湯沢市佐竹町 1-1

湯沢市議会 広報広聴委員会